

近畿富山県人会だより No. 3



発行人 近畿富山県人会

会長 金山隆興 幹事長 山崎清孝

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-9-15

近畿富山会館 3 階

電話 06-6443-9181 FAX 06-6446-1698

URL: <https://toyamakenjinkai.com>

E-mail: info@kinki.toyamakenjinkai.com

待望の「新田八朗知事への表敬の場」 知事の来阪を機にようやく実現

新たに就任された新田八朗知事を表敬訪問して挨拶の機会を持つべく、金山会長の指示のもと、コロナ禍の中模索が続いておりましたが、この度富山県関係部署の配慮をいただき、去る 11 月 18 日開催の「とやま企業立地セミナー」に知事が来阪されることに合わせて表敬・面談の機会を得ることができました。ANA クラウンプラザホテル大阪 3F の会場では県側から知事、布野浩久商工労働部長、小林賢一

立地通商課長、当方よりの金山会長他 2 名が 30 分ほど対面懇談しました。マスク着用のもとでしたが話は弾み、双方で今後とも一層の協力関係を保持・推進して行こうとの話で盛り上がりました。知事には終始気さくに、にこやかに相対していただき、来秋に予定の京都での近畿富山県人会総会へのご出席をお願いさせていただきました。



新田八朗知事と金山隆興会長

「1・17 はわすれないー震災 20 年鎮魂の雪地蔵づくりと交流の雪まつりー」行事に参加して

来年にはあの阪神淡路大震災から 27 年目を迎えます。直接間接に被災した関西在住の私たちは決してあの日を忘れることはありません。そして、あの災害直後から支援し合いいたわり合って復興の絆を深めてきた動きも含めて、決して風化させてはいけません。本稿では、あの震災の 3 日後からいち早く支援に駆けつけ、現在までも絆を確かめつつボランティア活動を継続させている富山市のボランティア団体「ヤングネットワークとやま(YNT)」について紹介させていただきます。ふるさと富山からの息長いボランティア支援活動は、同じふるさとにゆかりをもつ者として誇らしくもあります。

増山良子(近畿富山県人会副幹事長)

未曾有の阪神大震災から 27 年ー西宮市立安井小学校へー ～富山からの支援と交流・今もつづく～ 被災地に鎮魂の雪地蔵づくり・追悼の慰霊祭・雪まつり交流 (富山県人会から延べ 30 名参加)

富山市のボランティア団体「ヤングネットワークとやま(YNT)」は、阪神間の被災状況を目の当たりにし、発生 3 日後に西宮市に駆けつけられました。避難所となっていた安井小学校などで数ヶ月ボランティア活動を展開しましたが、『また来てね』の児童らの言葉に、その後も活動が継続されることとなりました。そして、平成 7 年 11 月からは、毎年富山県花チューリップの球根のプレゼント方々同校を訪れており、また、平成 18 年には富山少年サッカーチームと安井小児童とのサッカークラブの試合などを開催し交流を深めてきました。

平成 27 年に大震災発生から 20 年の節目を迎えるにあたり、その前年秋に「ヤングネットワークとやま」から地元、あの 1 月 17 日に慰霊祭を開催する計画が提案されました。

安井地区より「本当の復興につながれば…」との意向が伝えられ、追悼行事を開くことが決められました。この時、近畿富山県人会関係者にも依頼が

寄せられ、主に南砺市会や兵庫富山県人会の仲間から話が広がり、滑川会(家族を含め)メンバーも共に参加することになりました。前日には「ヤングネットワークとやま」代表の五十嵐光一さんらが富山県内から大型トラック 4 台で約 35 トンの雪を運び込み、安井地区の人々と富山県関係者県人会も一体となり、大震災により安井小校区内でなくなった人数と同じ 89 体の雪地蔵をつくり、ろうそくに火をともして翌朝の発生時刻に黙祷が捧げられました。その後、子ども達は雪のスベリ台や雪遊びをして楽しみ、交流の絆を深めたことです。

毎年春になると安井小校庭の花壇に「ヤングネットワークとやま」からの色とりどりのチューリップの花が咲き誇っています。西宮市と安井小児童からは、交流を続ける「ヤングネットワークとやま」に、西宮“固有”

運ばれてきた五箇山の雪を
トラック荷台から降ろす安井小校下での大震災犠牲者 89 名
に因んで造られた 89 体の雪地藏

夕暮れに募る鎮魂の想い



の「西宮権現平桜（だいらざくら）」と「夙川舞桜」が贈られ、絆の桜として平成 24 年から富山市の富山国際大学東黒牧キャンパスに植樹され、学生らにより育てられています。今では冬の豪雪のあとの春に、希望の花として爛漫に咲き誇り、ふるさとの皆さんの楽しみとなっています。

阪神大震災があった平成 7 年(1995 年)は「ボランティア元年」と呼ばれています。家族や地域住

民との絆の大切さも叫ばれています。「ヤングネットワークとやま」の活動は、大震災を経験してない子ども達とも一緒にかかわることで次世代に語り継ぐ尊く貴重な場となり、今も続けられています。

人とのつながりのあたたかさ・大切さから、命の伝承へととなって、心に響いています。

雪地藏に見
入る安井小
の児童たち雪地藏造りに協働した「ヤングネット
ワークとやま」のメンバーと近畿富山県人会有志

<地域会報告第 1 回>

近畿氷見同郷会の歴史と近況

近畿氷見同郷会元会長

近畿富山県人会副会長

山本孝則

近畿氷見同郷会は大正 11 年 11 月 20 日大阪天王寺公園横料亭桃太郎にて氷見郡長 竹田 省氏、南 喜平氏、岡部 実顕氏等を発起人として大阪氷見人会として創立され、99 年経過しました。以後近畿氷見同郷会と名称を変更してその間昭和 39 年に近畿上庄谷会、昭和 57 年京都氷見同郷会と合併し、現在会長の中坪健治氏は第二十代会長です。本会の規約は 17 条からなり、数回の改変を経て年会費 3,000 円と定められています。なお、戦中戦後の混乱期には総会が延期・中止となったり、年二回開催等もありました。紆余曲折を経て令和元年 5 月 19 日第 97 回総会を開催して、いよいよ第 100 回の記念総会の開催を目標としています。以後コロナウイルスの関係で開催されていません。

昭和 34 年には創立 40 周年記念として氷見市朝日山公園にソメイヨシノの苗木を 100 本寄贈しました。その苗木を県立有磯高校校長大石齊治氏が農業科の生徒を引率して植樹した記録があります。過去 4 回バスツアー等で故郷氷見市を訪問し

ています。又創立 20, 30, 40 年等各節目には近畿富山会館等で記念総会を開催しています。

近畿氷見同郷会には年間 3 大行事として 1, 総会(右写真)、2, 追悼法要、3, 新年会があり、施しています。総会には地元氷見市の市長をはじめ市議会、商工会議所、JA 氷見市、氷見市観光協会、各民宿等、近畿からは近畿富山県人会、各地域会から多数のご列席を頂き、例年 100 名程の参加を得て盛大に開催しています。また、毎回女性部有志の協力を得て氷見地方のお祝い事に振るまわれる金時豆を使用した赤飯を造り各テーブルに大皿に盛りつけて好評を得ています。さらにこの赤飯を出席者全員にパック詰めにしてお土産にしています。新年会も同様です。その他氷見市、議会、JA 氷見市、観光協会、民宿等から氷見米、氷見饅頭、宿泊券等のご寄贈を頂き抽選会を行い好評です。

物故者追悼法要は真宗大谷派難波別院南御堂にて毎年秋に開催されます。近畿氷見同郷会には縦 200cm 横 70cm 17 段 20 列の俱會一処の(天国に行っても一緒)掛け軸があります。故人のご遺族の申し出により掛け軸に法名、実名が記され追悼



法要にて導師の読経のもと焼香して物故者を追悼します。平成 25 年物故者 340 名の記載が満了して（写真参照）、新たに掛け軸を新調しました。



仏前には果物、菓子、饅頭、お酒等氷見市から取り寄せてお供えし読経終了後は氷見の風習に習い、おさがりとして参列者にお持ちかえりして頂い

ています。終了後は別院の北の間をお借りして仕出し弁当にて会食して故人を偲びます。

新年会は1月にホテルのコース料理以外に氷見名産寒鰯を3本購入してお造り、鰯大根等でふるさとの名物を堪能します。総会、新年会等には地元氷見出身の歌手 平こういちさんをはじめ各年ゲストを招待しています。時下のコロナウイルス早期収束を願い1日も早く会員皆さんと一堂に会して談笑する日が来る事を願ってやみません。



「コクヨ史料室」訪問記

酒井京子（近畿富山県人会副幹事長）

近畿富山県人会とも深いつながりのあるコクヨ株式会社では、2015年の創業110周年を迎えた節目に本社の敷地内の一角にコクヨ史料室を開館しました。史料室は一般公開されておらず、原則としてコクヨグループの社員を対象とした史料館のためホームページ等にも情報は掲載されていませんが、今回、特別に取材のため訪問させていただくことができました。

創業者である黒田善太郎さんの想いにコクヨの社員が触れるために造られたこの史料室はさまざまな気づきを社員に与えてくれる大変貴重な場所であると同時に、私たち富山県出身者にとっても黒田善太郎さんと後継者である黒田暲之助さんのお二人の富山愛を感じることができる心地よい空間といえます。

史料室の入り口近くにある年表には、善太郎さんが1936(昭和11)年に57歳で近畿富山県人会の会長に就任したことや1961(昭和36)年に富山市名誉市民となったことが記されています。2代目の暲之助さんは晩年は山歩きを趣味とされていたそうで、記念すべき1000万歩目の登山に選んだのは呉羽山でした。呉羽山の山頂で映っている写真からは深い郷土愛を感じました。

善太郎さんは「故郷の顔に泥を塗るな」と言われ富山を出て来られました。商標の「国誉」には「必ず富山という国の誉れになる」という強い志と、「初心を忘れない」という自戒の念が込められているそうです。



この史料室は、社員が仕事をするなかで心に迷いが生じたときに訪れ、先人の教えを乞い、気づきを得るためのとても重要な場所となっています。「お客様の役に立つ」という創業者の信念を社員が受け継ぎ、次の世代に残すためにも必要な場所であり、新入社員も入社時の研修で訪れます。コクヨの115年の歴史が詰まっている館であり、看板ギャラリーでは小売店の店先を飾ったさまざまな懐かしい看板が展示されています。また、大福帳から始まり帳簿、ノートなどの紙製品、オフィス家具など数々の商品も展示されており、社会に役に立つために築き上げてきた取り組みに触れることができます。館内には、クイズ形式での「コクヨ検定」初級編・中級編・上級編の設問のパネルもあり、コクヨという会社について楽しく学べます。上級編をクリアするとコクヨマニア認定になります。



富山大学の黒田講堂や学校への寄付等教育文化の発展に貢献された黒田善太郎さんをはじめコクヨという会社が大阪に存在していることの有難さと感謝を改めて感じることでできた訪問でした。

「人情時代喜劇」でも頑張っています！

川平貢永（滋賀富山県人会会長）

趣味の演劇稼働を今年も続けています。人情時代喜劇。どこか故郷を思い出す田舎芝居です。今夏7月18日、栗東さきらで開催された栗東演劇祭で我が素人演劇集団「山の動く会」が演じた「だんご屋のジイザクヤ」。この度DVDができ、併せて動画サイトのYouTubeにも載せています。毎回お馴染みのお笑い時代劇でして、夫婦が営むだんご屋に町の嫌われ者が現れて難癖付けて店を乗っ取ろうとする。そこから町民らが団結して悪に立ち向かっていく物語。今回私は一部脚本を書き、役者としてもやたらへまするチンピラの役を演じました。改めて作品作りの難しさを実感。本番までは練習、ダメ出し、また練習。反省からのまた練習。これの連続でした。またご感想をお聞かせください。動画は以下のサイトにYouTubeで3回に分けて載せています。是非ご覧ください。

Vol.1 https://youtube.com/watch?v=V9pC6lQ_rjE

Vol.2 <https://youtube.com/watch?v=DYUiHTK7-3g>

Vol.3 <https://youtube.com/watch?v=P110u4eW3AQ>

サッカーJ3 カターレ富山 悲願のJ2復帰ならず！

サッカーJ3 第29節の11月28日、4位のカターレ富山は3位いわてグルージャ盛岡に0対1で惜敗し、次節の最終戦を前にJ2復帰の可能性がなくなりました。カターレ富山は2021シーズンより監督に石崎信弘氏を迎え、J1でも数々の監督実績をもつ同氏とともにJ2復帰を目指していました。2022シーズンにこそ悲願のJ2復帰を実現するように力強い声援を送り続けたいものです。

新春1月16日冬の京都を駆ける女子駅伝 富山県チームを応援しよう！

皇后盃第40回都道府県対抗女子駅伝競走大会は令和4年1月16日（日）に京都で開催。富山県チームへは、毎年京都富山県人会が中心になって、スタート・フィニッシュ地点の「西京極陸上競技場」（阪急「西京極」駅すぐ）のスタンドで熱烈応援が行なわれています。富山県の旗のもとでの応援に、多数のみなさんの参加をお待ちしています。（スタートは12時30分。例年14時45分過ぎから15時過ぎまでに各チームがゴール）

「近畿氷見同郷会」についての記事の寄稿に深謝いたします。なお、この「近畿富山県人会だより」は本会ホームページでもご欄になれます。URL <https://www.toyamakenjinkai.com/wp/> また、この「近畿富山県人会だより」やホームページへの記事提供をお願い致します。情報送付宛先メールアドレスは次のようです。 kohoteam@toyamakenjinkai.com

ゴルフ好きは 「近畿万葉会ゴルフコンペ」に 大集合！！

富山にゆかりをもつゴルフ好きが「近畿万葉会ゴルフコンペ」（住吉和夫代表幹事）のもとに集まって、年に2回（春・秋）なごやかにラウンドしています。今年はコロナ禍で対策を施し規模を縮小して、5月28日に箕面ゴルフクラブ、10月5日に奈良のディアパークゴルフクラブで富山弁の行き交う気楽で楽しいコンペを開催しました。

次回は令和4年5月11日（水）に箕面ゴルフクラブで開催の予定です。

参加されたい方には柴田恒雄事務局幹事に4月20日頃までに電話またはメールで連絡ください。

電話 0745-76-3459

メール tshibata@m4.kcn.ne.jp

<近畿富山会館情報>

こんにちは。近畿富山会館SHOP担当の田中眞梨恵です。

毎週金曜日にます寿し（平ら寿し・丸龍庵）を数量限定で販売しております。また、年末食料品として蒲鉾（赤巻・昆布巻）、みりん干し、棒だら、杵つき餅など季節限定で販売致します。

この時期の産地直送商品としてのお薦め ①富山湾で獲れる紅ズワイガニ1杯3,000円～（2杯からご注文承ります。）②氷見牛（もも300g 4,500円）③昆布3種セット3,500円（かじき・甘えび・いか）いずれも好評です。ご注文お待ちしております。

TEL：06-6443-9183

FAX：06-6446-1698

E-mail：kinkitoyamakaikan@luck.ocn.ne.jp



富山の地酒も揃えています

ふるさとと 嬉しく会える 居酒屋・割烹・ レストラン 第2弾！ ホームページでも ご覧になれます！	りょうりや 御旅屋 京都市下京区西木屋 町通高辻角天満町 456-2 TEL： 075-343-1513 店主：御旅屋様 （高岡市）	富山ブラック 麺屋いろは 京都店 京都市下京区京都 駅10階拉麺小路内 TEL 075-351-5933 オーナー：栗原 様（射水市小杉）	富山家庭料理の店 こられん家 京都市右京区西院 西今田町11-4 TEL 075-321-8711 女将：小寺様 （富山市）	旬彩坐 立山 奈良市上三条町12 -1三条ミドビル2F TEL 0742 -26-8880 店主：谷口様 （立山町）	カフェレストラン&バー PUSSECAFE ブスカフェ 高槻市城北町 1-3-35 TNビル2F TEL： 072-675-8200 マスター：生地様 （射水市新湊）
---	--	--	--	---	--